

## 平成 28 年度 大規模災害に備えた廃棄物処理初動体制緊急整備事業

環境省においては、今年度の補正予算にて、大規模災害に備えた廃棄物処理初動体制緊急整備事業として「災害廃棄物処理計画策定モデル事業」及び「災害時処理困難物適正処理モデル事業」の 2 つのモデル事業を実施しているところですが、近畿ブロックでは 4 地域でモデル事業が進められている。

### 1 災害廃棄物処理計画策定モデル事業

#### ●大津市

- ① 災害廃棄物及びし尿の発生量の推計
- ② 仮置場の面積の推計及び仮置場の理想的な配置に係る検討
- ③ 処理困難物（アスベスト、農薬、溶剤等）の取扱い

#### ●京都府

- ① 災害廃棄物及びし尿の発生量の推計
- ② 仮置場の面積の推計及び仮置場の理想的な配置に係る検討
- ③ 廃棄物関連施設の防災対策等に係る情報の整理

#### ●豊中市・伊丹市・豊中市伊丹市クリーンランド

- ① 災害廃棄物及びし尿の発生量の推計
- ② 仮置場の面積の推計及び仮置場の理想的な配置に係る検討
- ③ 豊中市伊丹市クリーンランド等の被災に伴う影響の把握

### 2 災害時処理困難物適正処理モデル事業

#### ●堺市

- ① 災害時処理困難物の抽出及び発生場所の把握
- ② 工場及び事業所による災害時への備えに係る対応状況の把握
- ③ 災害時処理困難物の処理方法、処理先の把握